



よう太のワーク 「おしどり夫婦」

／掲載日：2015年1月28日／紙面：山陽新聞夕刊／掲載：2ページ

「おしどり夫婦」です。岡山市の後楽園にオシドリのつがい（オスとメス）が飛来した。並んで池を泳いだり、小さな岩の上で寄り添って羽を休めたりと仲むつまじい姿に、観光客らが目を細めている。

オシドリ（体長40～45センチ）はカモの仲間の水鳥で、雄はオレンジ色の派手な羽を持つ一方、雌は地味な色彩という特徴がある。繁殖地は山陰などで、鳥取県の県鳥としても知られる。

岡山県版レッドデータブックでは、すぐ絶滅

オシドリ 夫婦で飛来

後楽園

する危険性は低いですが、成育環境の悪化などにより将来的にその恐れが増すとされる準絶滅危惧種に指定されている。県内では中北部の溪流や山間部の池などで見られるほか、南部で確認されることもある。

後楽園によると、最初に姿を確認したのは昨年。カモに交じって泳ぎ、雄が雌の後をついていくなど仲良く過ごしているという。広報スタッフの坂本美香さんは「人が近づくと隠れてしまう臆病な鳥。そっと見守って」と話している。（写真・鈴木治康、文・伊丹友香）



岡山市の後楽園に飛来したオシドリのつがい

●記事からさがそう。

①どこで？

()

②何が飛来したの？

()

③オシドリについて

ア 体長は？ ()

イ 何の仲間？ ()

ウ 雄の特徴は？

()

エ 雌の特徴は？

()

オ 何県の県鳥？ ()

カ オシドリも指定されている準絶滅危惧種とはど

んな種類？

()

() 種類

キ 後楽園広報スタッフの坂本さんの願いは？

()

()

「おしどり夫婦」です。岡山市の後楽園にオシドリのつがい飛来した。並んで池を泳いだり、小さな岩の上で寄り添って羽を休めたりと仲むつまじい姿に、観光客らが目を細めている。

オシドリ（体長40～45センチ）はカモの仲間の水鳥で、雄はオレンジ色の派手な羽を持つ一方、雌は地味な色彩という特徴がある。繁殖地は山陰などで、鳥取県の県鳥としても知られる。

岡山県版レッドデータブックでは、すぐ絶滅

オシドリ 夫婦で飛来

後楽園

する危険性は低いですが、成育環境の悪化などにより将来的にその恐れが増すとされる準絶滅危惧種に指定されている。県内では中北部の溪流や山間部の池などで見られるほか、南部で確認されることもある。

後楽園によると、最初に姿を確認したのは昨年。カモに交じって泳ぎ、雄が雌の後をついていくなど仲良く過ごしているという。広報スタッフの坂本美香さんは「人が近づくと隠れてしまう臆病な鳥。そっと見守って」と話している。（写真・鈴木治康、文・伊丹友香）



岡山市の後楽園に飛来したオシドリのつがい

解答例

①どこで？

(岡山市の後楽園で)

②何が飛来したの？

(オシドリのつがい)

③オシドリについて

ア 体長は？ (40～45センチ)

イ 何の仲間？ (カモの仲間)

ウ 雄の特徴は？

(オレンジ色の派手な羽を持つ)

エ 雌の特徴は？

(地味な色彩)

オ 何県の県鳥？ (鳥取県)

カ オシドリも指定されている準絶滅危惧種とはどんな種類？

(すぐ絶滅する危険性は低いですが、生育環境の変化などにより将来的にその恐れが増すとされる) 種類

キ 後楽園広報スタッフの坂本さんの願いは？

((オシドリの夫婦を) そっと見守って)